

外国人介護人材の 受け入れについて

社会福祉法人 ユーアイ二十一
特別養護老人ホーム 太陽の家
副管理者 平田吉輝

法人紹介

【法人名】 社会福祉法人 ユーアイ二十一

【所在地】 神奈川県横須賀市西浦賀 6 - 1 - 1

【設立】 平成13年8月7日

【事業内容】 特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、通所介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護、住宅型有料老人ホーム、訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護、無料低額宿泊施設、居宅介護支援、地域包括支援センター、歯科診療所、保育所

【職員数】 約600名

EPA受け入れの目的

①外国人労働者受け入れ体制の基盤作り

②国際交流による職場の活性化

EPA受け入れ実績

受け入れ年度	国名 / 受け入れ人数	受け入れ施設
22年度	インドネシア / 2名	二番館
23年度	インドネシア / 2名	太陽の家
24年度	インドネシア / 2名	二番館
26年度	インドネシア / 4名	太陽の家・二番館
27年度	インドネシア / 2名	太陽の家
28年度	インドネシア / 2名	二番館
29年度	インドネシア / 4名	二番館・座間
30年度	インドネシア / 3名	太陽の家・座間
	ベトナム / 1名	二番館
31年度	インドネシア / 2名	座間
	フィリピン / 2名	横濱羽沢

受け入れ前の準備

- ◆ プロジェクトチームを結成し、フロア（現場）・手続き・学習等の担当者を決めた。
- ◆ 「職員向けの勉強会」や「ご家族向けの説明会」を開いた。
- ◆ 住居や家電、生活用品等、新しい生活が始めるにあたって最低限必要なものを準備した。
- ◆ 宗教やその国独自の習慣について事前に勉強した。
- ◆ 職場の物品名にフリガナをふった。

インドネシアについて

<基本情報>

- ◆ 13000以上の島々からなる、赤道直下の国
- ◆ 人口2億6400万人（世界第4位）
- ◆ 9割近くがイスラム教、その後、プロテスタント、カトリック、ヒンドゥー教、仏教、儒教と続く

<イスラム教の特徴>

- ◆ 一日数回のお祈り
- ◆ ヒジャブ（インドネシア語でジルバブ）の着用
- ◆ 豚肉とアルコールの禁止
- ◆ ラマダン（断食月）

インドネシア人の特徴

- ◆ 明るくおおらか
- ◆ 仕事もプライベートものんびり
- ◆ めったに怒らない
- ◆ 怒られることに慣れていない
- ◆ 信心深い

実際に受け入れてみて・・・その1

<ご利用者・ご家族・職員の反応>

◆受け入れ前は「言葉・文化・宗教・働き方」について違いがあるのではないかと考え、不安に思う職員もいた。ところが、実際に配属され、一緒に働いてみると、考え方も日本人に似ており、仕事への向き合い方に差を感じることなく、自然と受け入れていった。

◆ご家族からは「一生懸命にやってくれて助かる」との話がよく聞かれている。

◆ショートステイのご利用者が退所後、担当ケアマネに対して「夜中に外国人が来た・・・」と不満そうに話をしたというケースもあるが、それ以外に苦情が寄せられることはなく、ご利用者からも概ね高評価を得ている。

実際に受け入れてみて・・・その2

<コミュニケーションについて>

- ◆分かっていなくても「はい」と答えることがある。説明後には必ず自分の言葉で再度説明してもらうことで、理解度の確認を行った。
- ◆受け入れ後1カ月間は、就労前と就労後に5分程度時間を確保し、日常生活や業務における不安を解消できるよう支援した。
- ◆日本語の説明がどうしても理解できない時は、ネットの翻訳機能や英語を使うなどして、その場で理解できるよう努めた。（場合によってはEPAの先輩をお願いして、インドネシア語で説明してもらうこともあった。）
- ◆ミスをした場合であっても、人前で叱らないよう配慮した。

実際に受け入れてみて・・・その3

<受け入れて良かったこと>

- ◆明るい性格の方が多く、施設全体に活気をもたらしてくれた。
- ◆協調性もあり、うまく日本人に溶け込んで業務にあたっている。
- ◆遠い異国の地で頑張っている彼らの姿は、日本人スタッフにとって良い刺激となっている。
- ◆業務の見直し・効率化を図ることができた。

実際に受け入れてみて・・・その4

<受け入れて苦労したこと>

- ◆定着に向けて課題は多い。女性は結婚のタイミングで帰国する方もいる。それ以外にもホームシックの症状が強くなる場合もある。
- ◆同じ国の候補生同士だからみんな仲が良いというわけではない。
- ◆ラマダンの時期の勤務調整。
- ◆体調不良時の対応（受診付き添い等）。
- ◆記録や申し送りに関する指導。日本語の細かいニュアンスの習得。

事前に準備したもの

- ◆住居の手配（電気・ガス・水道の契約）
- ◆生活用品の購入（鍋・包丁・食器・布団等）
- ◆家電の購入（エアコン・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機）
- ◆Wi-Fi環境

入社後にすること

- ◆行政手続き（転入届等）
- ◆シャチハタと印鑑の準備
- ◆銀行口座の開設
- ◆住居から職場までの通勤経路を確認。（職員が数回同行）
- ◆住居付近のお店を案内（スーパー、100均等）
- ◆最初は携帯電話を持っていないことがあるので、緊急時の連絡方法を考える。

その他

◆EPA候補生同士のネットワーク

◆申請等取次者証明書の取得
(入管協会が開催する研修会に参加)

ご清聴ありがとうございました。